

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	課題研究演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 水・1限	教室名	PCルーム
担 当 教 員	青木敦孝	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
コンピューターを用いた統計作業のスキルを身に着けることを目標とする。						
《成績評価の方法と基準》						
授業中に実施する課題及び、日々の課題(70%)、出席(20%)、授業での姿勢等(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
オーム社 Excel統計学 超入門						
《授業外における学習方法》						
日々のパソコン操作及び、他教科におけるパソコン操作。						
《履修に当たっての留意点》						
パーソナルコンピューターの基本設定を維持し、むやみに設定を変更しない。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計学を理解する	教科書	特になし	
		各コマにおける授業予定	統計学概要			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計について理解する	教科書	特になし	
		各コマにおける授業予定	統計の種類を知る			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excelスキルチェック	教科書	特になし	
		各コマにおける授業予定	Excelの全般操作確認及びスキル習得(データ入力)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excelスキルチェック	教科書	特になし	
		各コマにおける授業予定	Excelの全般操作確認及びスキル習得(演算子)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excelスキルチェック	教科書	特になし	
		各コマにおける授業予定	Excelの全般操作確認及びスキル習得(関数)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excelスキルチェック	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	Excelの全般操作確認及びスキル習得(関数)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excelスキルチェック	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	Excelの全般操作確認及びスキル習得(グラフ作成)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel統計学を身に着ける	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	Excelデータ集計		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel統計学を身に着ける	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	分布と確立		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel統計学を身に着ける	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	確率変数		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel統計学を身に着ける	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	確率変数		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel統計学を身に着ける	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	集団の真の母比率の推定		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel統計学を身に着ける	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	母平均の推定方法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel統計学を身に着ける	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	集団の真の平均を検定		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel統計学を身に着ける	教科書	特になし
		各コマにおける授業予定	t分布と正規分布		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	課題研究演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	601 号室
担当教員	山田琢伸 山本雅美	実務経験と その関連資格	介護老人保健施設での実務経験あり。理学療法士。			
《授業科目における学習内容》						
課題研究						
《成績評価の方法と基準》						
研究課題(70%)、出席状況(20%)、授業態度(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ハンドアウト						
《授業外における学習方法》						
疑問を持ち、取り組みましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
課題研究学習を通して、専門職としての「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を身につけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究とは何かを理解する。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分)	
		各コマにおける授業予定	研究とは何か		【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)	
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	先行研究を参考にテーマ決定①	配布資料 PC持ってきてください。	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分)	
		各コマにおける授業予定	先行研究のチェックをし、批判的に読む。		【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)	
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	先行研究を参考にテーマ決定②	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分)	
		各コマにおける授業予定	先行研究のチェックをする。批判的に読む。		【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)	
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究デザイン(研究の進め方を過去の文献を参考に理解できる)	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分)	
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、統計		【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)	
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分)	
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)	

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	文献を読んで批判的吟味ができる。	配布資料	【事前学習】 教科書を読んで予習しておく(30分) 【事後学習】 授業で学んだことを教科書や配布資料で復習する(30分)
		各コマにおける授業予定	研究デザイン、過去の文献の批判的吟味		

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	課題研究演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	601 号室
担当教員	山田琢伸 山本雅美	実務経験と その関連資格	介護老人保健施設での実務経験あり。理学療法士。			
《授業科目における学習内容》						
課題研究						
《成績評価の方法と基準》						
研究課題(70%)、出席状況(20%)、授業態度(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ハンドアウト						
《授業外における学習方法》						
疑問を持ち、取り組みましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療福祉領域の先行研究を検索し、関心を持ちテーマ検討する。①	配布資料	【事後学習】授業の復習	
		各コマにおける授業予定	テーマ検討と理由付け①			
第32回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療福祉領域の先行研究を検索し、関心を持ちテーマ検討する。②	配布資料	【事後学習】授業の復習	
		各コマにおける授業予定	テーマ検討と理由付け②			
第33回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究テーマを決めることができる	なし	【事後学習】授業の復習	
		各コマにおける授業予定	研究テーマの選定(領域)			
第34回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究のタイトルを決めることができる	なし	【事後学習】授業の復習	
		各コマにおける授業予定	タイトルの選定			
第35回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	文献を検索できる	なし	【事後学習】授業の復習	
		各コマにおける授業予定	文献検索①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	講義形式	授業を通じての到達目標	文献を検索できる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	文献検索②		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	文献を検索できる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	文献検索③		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究デザインを完成することができる。	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	研究デザインの作成①		
第39回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究デザインを完成することができる。	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	研究デザインの作成②		
第40回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究デザインを完成することができる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	研究デザインの作成③		
第41回	講義形式	授業を通じての到達目標	PPの一部を完成させることができる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	テーマ、目的をPPに入力		
第42回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アンケートを作成することができる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	アンケート作成①		
第43回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アンケートを作成することができる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	アンケート作成②		
第44回	講義形式	授業を通じての到達目標	アンケートを作成することができる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	アンケート作成③		
第45回	講義形式	授業を通じての到達目標	DATAを収集できる。	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	DATAを収集		

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	課題研究演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	601 号室
担当教員	山田琢伸 山本雅美	実務経験と その関連資格	介護老人保健施設での実務経験あり。理学療法士。			
《授業科目における学習内容》						
課題研究						
《成績評価の方法と基準》						
研究課題(70%)、出席状況(20%)、授業態度(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ハンドアウト						
《授業外における学習方法》						
疑問を持ち、取り組みましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第46回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各グループの発表を聴いて、改善点などを話し合う。	なし	【事後学習】授業の復習	
		各コマにおける授業予定	最終発表会			
第47回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各グループの発表を聴いて、改善点などを話し合う。	なし	【事後学習】授業の復習	
		各コマにおける授業予定	最終発表会			
第48回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対策を立てることができる。	なし	【事後学習】授業の復習	
		各コマにおける授業予定	質疑応答に対する対策を立てる。			
第49回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイントの修正が出来る。	なし	【事後学習】授業の復習	
		各コマにおける授業予定	PPの修正、発表練習			
第50回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイントの修正が出来る。	なし	【事後学習】授業の復習	
		各コマにおける授業予定	PPの修正、発表練習			
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	

第51回	講義形式	授業を通じての到達目標	最終リハーサルにて自グループの課題を見つけることができる。	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	発表練習		
第52回	講義形式	授業を通じての到達目標	最終リハーサルにて自グループの課題を見つけることができる。	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	発表練習		
第53回	講義形式	授業を通じての到達目標	最終リハーサルにて自グループの課題を見つけることができる。	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	発表練習		
第54回	講義形式	授業を通じての到達目標	最終リハーサルにて自グループの課題を見つけることができる。	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	発表練習		
第55回	講義形式	授業を通じての到達目標	最終リハーサルにて自グループの課題を見つけることができる。	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定			
第56回	講義形式	授業を通じての到達目標	最終リハーサルにて自グループの課題を見つけることができる。	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	最終リハーサル		
第57回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自身のグループの研究を発表できる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	課題研究		
第58回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自身のグループの研究を発表できる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	課題研究		
第59回	講義形式	授業を通じての到達目標	自身のグループの研究を発表できる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	課題研究		
第60回	講義形式	授業を通じての到達目標	自身のグループの研究を発表できる	なし	【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	課題研究		